

学びの音

城下小学校 校長室だより

令和5年4月6日

自分で考える事・感じる事

令和5年度の新しい一年がスタートしました。皆さんは、どのような気持ちで今日の一步を踏み出しましたか？昨年度の終業式

の際に、1年間をしっかりと振り返ったお友達が、来年度に向けて新たな目標を掲げていました。ここにいる皆さんも、年度末から春休みを通して自分の成長を振り返り、成長をかみしめ、新たな希望をもって、今日ここに在るのではないのでしょうか。

令和4年度は、皆さんが振り返った通り、一人一人が、学級が、学校が多くの成長を成し遂げました。それを踏まえて、令和5年度は次の2つのことを、皆さんと一緒に大切にしたいと思っています。それは、「自分で考え、自分で行動すること」そして、「関わり感じる事」です。

今年の目標を語っていた皆さんの言葉に、誰かに言われたからではない、自分がこうありたいという強い意志を感じました。毎日の生活の中においても、問題を追究したり友だちと考え合ったりといった学習に向かうこと、見える汚れを落とすだけでなく、自分から汚れを見つけて掃除をすること等、誰かに言われたり与えられたりする物をこなすだけでなく、自分で考え行動して行ってほしいと思います。

さて、日々の生活の中で、時として友だちと喧嘩をしたり悲しい思いをしたりさせたりすることがあるかと思います。しかし、そこにいる誰もが楽しい、誰もが気持ちいい、そんなクラスや学校があったら嬉しいと思いませんか。学級や学校には、お友達や先生方等、たくさんの方が一緒に生活しています。その中で、自分や自分たちのことだけを考え、行動していたのでは、皆が楽しくなることはありません。「自分は悲しい」「自分は腹が立つ」といった「自分」だけを物差しに考えるのではなく「〇〇さんは？」「〇〇さんはどう思うかな？」のように相手の気持ちを感じようとするのが大切です。その場で生活をする相手の気持ちを、皆さん一人一人が感じようすることができたら、きっとだれもが楽しく生活できるものと思います。そして、相手の気持ちを考え、関係を深めることは学級や学校の力を高め、一人ではできない「何か」を成し遂げるエネルギーにもなります。関わり感じることは、お友達や先生方に限りません。地域の人や家族、そして身の回りにある多くの物やその時の状況に心を傾けてみてください。

この二つのことは、一年をかけて皆さんと考え、大切にしていきたいと思っています。そういった姿があったら皆さんからも教えてください。

素敵な一年にしていましょ。

